

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

自治会代表者会議

まちの話・出来事  
学校だより

各地区運動会

カメラレポート

発信@みなくる

子育て支援センター

自治会代表者会議

まちの話・出来事

地域活動レポート

カメラレポート

教育委員会通信

こんにちはは保健師です



## 地場野菜直売所「作倶楽」オープン(6月10日)

安心・安全な地場野菜を地域に広めるために農家グループで組織し、金山・下金山地区交流センター（旧J A下金山事業所店舗）で消費者にもぎたての野菜などを直接販売する「作倶楽」が今年もオープンしました。

この日は開店と同時に大勢の方が来店し、新鮮なおいしい野菜や花の苗などを品定めし、にぎわっていました。

店内には生産者の名前や似顔絵、商品の説明などが掲示され、生産者の思いが伝わってきます。

皆さんも一度のぞいてみてはいかがでしょうか？

営業時間午前9時から午後5時（日曜日、祝日は定休日）



## がんばれ！「南富高カヌー部」(6月10日)

第6回北海道高等学校カヌー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会カヌー競技北海道予選会がかなやま湖で開催され、地元南富良野高等学校カヌー部から5名の選手が出場しました。

競技は男女別、艇の種類ごとの500m・200mの種目に分かれ、選手のみなさんは懸命にゴールを目指しました。予選を見事突破した4名は8月4日（カヌー競技開会日）から宮城県加美町で開催される全国大会（2011北東北総体）に出場することとなりました。

○南富高カヌー部全国大会出場選手

・佐々木 太一 選手 ・加藤 翔太 選手

・安西 孝典 選手 ・金澤 駿吾 選手



## 老人クラブの皆さんが熱戦を展開(6月14日)

町老人クラブ連合会のゲートボール大会が、雨天により町民体育館で行われました。

大会には、町内各地区の老人クラブで構成された6チーム35名の選手の皆さんが出場し、上位3チームに与えられる富良野沿線老人クラブ選抜ゲートボール大会への出場権をかけて、熱戦が展開されました。競技の結果、優勝は金山ひなげしチーム、第2位は幾寅ひまわりチーム、第3位は落合新生チームとなりました。



## 札幌の中学生が農業を体験(6月14日)

下金山地区の農家5戸で構成する「夢香クラブ（及川昌江代表）」が受入れ先となり、札幌市内の中学3年生が行う宿泊研修の農業体験実習が行われました。

同クラブは、地産地消を推進することを目的に平成15年から活動を開始し、冬季間には地場野菜を用いた家庭料理の研究など行っています。今年で3年目となる受入れで、研修に訪れた35名の生徒の皆さんは5グループに分かれ、それぞれの農家でハウストマト栽培の補助やアスパラ苗などの野菜の定植で汗を流していました。

受入れをした及川代表は「この体験を通じて、都会の子ども達が少しでも地域の野菜に関心を寄せていただき、農家や農作業への理解が深められたらと思っています」と話してくれました。

## 町へ災害備蓄用パンを寄贈(5月25日)

社会福祉法人南富良野大乘会 鷹嘴充子理事長をはじめ、大乘会の関係者が役場を訪れ、町へ災害備蓄用パン1,200缶が贈呈されました。寄贈いただいたパンは、南富良野大乘会で運営し、施設利用者が働いている「なんぶ〜香房森のパン屋」で製造しているもので、製造を始めてから毎年寄贈され今年で3年目になります。パンは5年間保存ができ、火や水を必要としないもので、町では災害が発生した時に備え活用させていただきます。



## 串内牧場で入牧始まる(5月23日)

富良野広域連合公共串内牧場で牛の入牧が始まりました。今年、昨年より若干多い約1,170頭の放牧が予定されており、慎重な作業の中、町内をはじめ富良野沿線市町村や清水町、当別町や新ひだか町などから乳牛や肉牛が次々とトラックで運び込まれました。

入牧した牛たちは、10月下旬までの約5ヵ月間、広さ約500ヘクタールの広大な放牧地の中で、のんびりと生活します。

## 手足を泥まみれに田植え(5月30日)

稲作農業を体験して、働くことの大切さと喜びを学び、感謝の心を培う取り組みとして、下金山小学校7名と金山小学校9名の児童が合同で田植を体験しました。

この日は、天候が曇りで気温が10度と非常に肌寒い中での体験学習となりましたが、その分、足を踏み入れた水田の中の温かさを強く感じる事ができ、気温の変化による水の管理の重要性がより理解できたようでした。児童の皆さんは手足を泥まみれにしながら丁寧に「はくちょうもち」の苗を植えていました。

秋には刈取りや脱穀・餅つき集会などを計画しており、強く丈夫な稲で育つことを希望しながら、今後の生育が楽しみな様子でした。



## 千里大学で救急法講習会(5月26日)

町の高齢者が学ぶ千里大学(学長池部彰町長)の公開授業として富良野地区消防組合富良野消防署南富良野支署職員が講師となりAED(自動体外式除細動器)を用いた救急法講習会がみなくるで行われました。

このAEDは、昨年度の国の「きめ細かな交付金」を活用し、3月に町内の各小・中学校や役場、ログホテルラーチや保養センター、物産センターや各地区消防庁舎に設置されています。

この日受講された学生の皆さんは、はじめは戸惑いながらAEDを操作していましたが、音声ガイダンス(案内)に従いながら見事な処置をされていました。